

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、下記の通り教授（教育職）の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種および人数： 教授(教育職)1名
2. 配属予定部署：
宇宙科学研究所 太陽系科学研究系
3. 職務内容及び求める人物像：

宇宙科学研究所は、重力天体への着陸探査を将来の太陽系科学探査の最重要項目の一つとして認識し、宇宙理学と宇宙工学の融合と大学共同利用の一層の充実により、推進しようとしています。今回募集する教授には、将来の太陽系科学探査、特に重力天体への着陸探査を含む固体惑星探査において観測装置開発研究のリーダーとして、当該コミュニティと協力して、観測装置開発の面からミッションの推進にリーダーシップをもってあたることを期待します。また、今回募集する教授には、所外の固体惑星探査用観測装置開発グループや工学グループとも連携しつつ、将来の固体惑星探査に必要となる我が国独自の観測装置の開発体制を戦略的に構築し先導することで、我が国の固体惑星探査用機器開発の中核的役割を果たすことを期待します。

そのために、少なくとも以下の業務を担当していただきます。

- JAXA 宇宙科学研究所における固体惑星探査用観測装置開発研究のリーダーとして、宇宙科学研究所が実施する太陽系科学探査計画で必要となる観測装置開発を推進すること。特に、将来の重力天体への着陸探査に向けて、観測装置開発のリーダーとして計画を推進すること。
- 世界の固体惑星探査用観測機器の開発状況を踏まえた上で、観測装置開発の戦略的方向性を見出し、所外の固体惑星探査用観測装置開発グループや工学グループとも連携しつつ、将来の惑星探査に必要となる我が国独自の観測装置の戦略的な開発において、我が国の固体惑星探査用機器開発の中核的役割を果たすこと。

さらに、当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して宇宙科学プロジェクトを中心とする学術研究を遂行するとともに、専門研究能力を生かしてJAXA内の研究開発やプロジェクトなどの各種活動に積極的に参加し、将来の宇宙開発・宇宙利用に資する人材育成に貢献できる意欲あふれる人材を求めます。

このような業務に鑑み、今回募集する教授は、少なくとも次の条件を満たすものとします。

- 固体惑星科学の実験分野での学術実績と研究経験を有し、観測装置開発を通じて惑星科学を推進する熱意を擁すること。
- 世界の固体惑星探査用観測機器の開発状況も含む惑星探査プログラム全体を俯瞰した上で、我が国独自の機器開発においてリーダーシップを発揮できること。 _

- 理学・工学連携の場面で活躍する学際性を有すること。
- 大学院学生の教育・指導において、高い実績を有すること。

4. 待遇

- (1) 給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (2) 休日・休暇：完全週休2日制、祝祭日、年末年始、年次有給、WLB、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等
- (3) 始業、終業時刻、休憩時間：原則、始業午前9時30分、終業午後5時45分、うち、午後0時15分から午後1時まで休憩時間(ただし裁量労働制を適用する)
- (4) 所定労働時間を超える労働の有無：有(ただし、裁量労働制を適用し、1日のみなし勤務時間を7時間30分とする)
- (5) 勤務地：相模原キャンパス
- (6) 任期・定年：任期なし。63歳定年制。
- (7) 保有・借上宿舎の貸与：機構の規定により業務の必要性を鑑み独身用または世帯用を用意することができる。(ただし、同一の宿舎に継続して入居できる期間は7年を限度とする。)もしくは住居手当の支給が可能。
- (8) 社会保険：各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

5. 応募資格：博士号を有すること

6. 着任時期：決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。

7. 提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) これまでの研究概要
- (4) 論文リスト
- (5) 今後の研究計画(プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む)
- (6) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)
- (7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
- (8) 主要論文の別刷り5編以内(査読付き学術誌に掲載されたものに限る)

※以下は欧州経済領域(EU圏)在住者のみ、提出してください。

- (9) EU一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書(様式1) 8.提出方法のWebサイトから電子的方法によりダウンロードしてください。

8. 提出方法

下記Webサイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1597720627>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。
upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(6)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。
(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)
なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

9. 応募締め切り:

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2020年11月2日(月) 9時30分(日本時間) 必着

応募者は、お早めに上記 web サイトにアクセスの上、応募書類(「他薦」の場合の「推薦書」を含む)の提出方法を確認しておいてください。

応募締切直前に応募の場合、推薦者が「推薦書」を提出できる期間も短くなりますので、ご注意ください。

10. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

太陽系科学研究系主幹 齋藤義文

電話: 050-3362-4632 E-mail: saito.yoshifumi@jaxa.jp

ただし、上記「8. 提出方法」に関する問い合わせ先:

科学推進部人事担当

電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI@ml.jaxa.jp

11. その他: 選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について> 宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

国立大学法人等（※）からJAXA教育職職員に異動する方については、次のとおり取り扱われます。但し、当該国立大学法人等を退職したことにより退職金（これに相当する給付を含む。）の支給を受けたときは、下記内容に該当しません。

（※）国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構、独立行政法人大学評価・学位授与機構、独立行政法人国立大学財務・経営センター、独立行政法人メディア教育開発センター及び独立行政法人大学入試センター。

1. 期末手当に係る在職期間

国立大学法人等（前職）の在職期間は、JAXA 教育職職員の在職期間に通算します。

2. 地域調整手当の異動保障

JAXA教育職として在勤することとなった日の前日における在勤地等を考慮し、必要に応じて、地域調整手当をJAXA規定に基づき保障します。

3. 単身赴任手当の支給要件

国立大学法人等（前職）から引き続き、JAXA教育職職員任用後も単身赴任である場合、変わらず要件を充足していれば JAXA規定に基づき引き続き手当を支給します。まずは個別の事情についてご相談ください。

4. 年次休暇の付与日数

国立大学法人等（前職）の残日数及び残時間を引き継ぎます。そのため国立大学法人等（前職）での勤務・休暇取得の実績をご提出頂きます。（前職で年休が暦年付与となっている場合は、5 日の加算調整をいたします。）

以上